



栃木県立足利南高等学校

平成22年度 総合学科通信 第3号

No29
(2011/3/24発行)

校長より

校長 鈴木 義夫

平成22年度も残りわずかとなりました。今年度末で退職となる身には感慨もひとしおです。本校に赴任して初めて総合学科の特色とすばらしさ、そして課題が分かりました。

特色は何と言ってもバラエティーに富む教育課程にあります。これだけ多くの教科科目の中から自分の好きなものを選択できる教育課程はちょっと他にありません。しかも、その多くが少人数の授業です。他の高校を知らない生徒諸君にはピンとこないかも知れませんが、これはすばらしいことです。加えて、総合学科特有の行事がたくさんあります。スクールインターシップや総合学科発表会などは他の高校にはない行事でしょう。総合学科発表会には驚きました。正直、すごいと思いました。多くの生徒・保護者、中学生を前にして隠することなく、皆堂々とすばらしい発表を行いました。この経験はきっと将来役立つでしょう。

反面、いくつかの課題にも気づきました。一番気になるのは、進路に関係なく何となく楽そうな科目を安易に選択する生徒がいるということです。実にもったいないことです。自分の興味関心や進路を考えた結果それがたまたまその科目であったというなら分かりますが、楽そうだというのはいかにも安易です。すべての生徒が総合学科特有の教育課程を活用し真摯に科目選択を行い実のある高校生活を送ってくれることを希望します。

南高はすばらしい学校です。この学校で学べることを誇りに思ってください。そして、価値ある3年間を過ごし希望する進路を実現してください。

総合学科発表会

総合学科推進部長 大高 直樹

平成23年1月22日の土曜日に、平成22年度総合学科発表会が開催されました。1年生のライフプラン発表2名、2年生のミニ課題研究発表2名、3年生の課題研究発表は、異文化コミュニケーション・自然科学・情報メディア・芸術スポーツ・生活デザインの5系列16名の代表が発表を行い、最後に生活デザイン系列の生徒5名による被服製作発表が披露されました。特に3年生は、1年間の総合学習の集大成として、その成果を見事に表現し、多くの時間をかけて練習してきた熱心な発表は、後輩たちや来場して下さった中学生・保護者の方々に多くの感動を与えた様子でした。午後の講座発表会では、美術・書道・家庭科の展示に、フランス語・音楽・演劇の発表があり、演劇に出演した生徒の演技は、高校生とは思えない表現力が喝采をあげていました。来年度も今年度以上にすばらしい発表会にしたいと思っていますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。



1学年主任より

「2年次に向けて」 松野 哲也

昨年4月の入学式が、つい昨日のような気がします。生徒諸君ならびに保護者の方々にとっては、あっという間の1年間であったろうと思います。中学生の時とは違う高校生活はいかがだったでしょうか。また、他の普通科とは違う総合学科の学習活動はためになったでしょうか。それぞれ取り組み方で違った感想があると思います。

1学期は、スクールインターシップや各種講話がありました。2学期には、2・3年次の自分の授業の時間割を作りました。また、これからの自分の生き方をあらわしたライフプランを作成し、発表しました。3学期には、卒業生の講話や修学旅行で訪れる沖縄に関するミニ課題研究なども行いました。このような「産業社会と人間」等の授業を通して、総合学科独特の活動に取り組み生徒諸君の姿に成長が見られたのが大きな収穫でした。



最後に、『和して同ぜず』という有名な言葉があります。「和」とは他の人と仲良く協調する、という意味です。「同ぜず」は、付和雷同のことです。付和雷同とは、自分自身の見識を持たずに、簡単に他人の意見に賛成してしまうことです。周囲に左右され流されてしまうことです。つまり、他の人達と付き合う際には、協調して親しくする。しかし、道理に合わないことや悪い行為に対しては、自分の意見を曲げて相手の調子に合わせてたりせず、常に、自分の主体性を持ち、目先の都合のよさに気を奪われること無く行動するということです。4月からの2年次の生活に向けての言葉です。

2学年主任より

2年次「総合学習Ⅰ」を振り返って 堀越 安則

本校では2年次に総合学科Ⅰを毎週月曜日に1時間行います。この1年間の主な学習内容は①ミニ課題研究②修学旅行事前学習③進路についての学習④3年次の時間割の見直し⑤3年次課題研究テーマの設定です。

- ① ミニ課題研究…沖縄修学旅行を踏まえて、伝統・文化・歴史や自分で興味関心のある沖縄に関するテーマを設定し、書籍やインターネットなどを利用して調べ、まとめをし、クラス発表会では一人ひとり研究内容を発表しました。この研究を通して3年次の課題研究の予行演習ができ、3年次に向けての新たな系列ごとのテーマ設定ができあがりました。
- ② 修学旅行事前学習…10期生は沖縄に修学旅行に行きました。そのための事前学習として、今回はミニ課題研究のテーマに取り上げ、また沖縄の歴史を概観したり、映画等で沖縄戦について学習したりしました。ここでの学習が充実した修学旅行につながりました。
- ③ 進路についての学習…進路ガイダンス、進路講話、スクールインターシップⅡなどの行事を通して、進路について考えを深めることができました。
- ④ 3年次の時間割の見直し…もう一度自分の希望する進路を考え、1年次に決めた3年次の選択科目について見直しを図りました。
- ⑤ 3年次の課題研究テーマの設定…系列の先生方のアドバイスを受けながら3年次の課題研究のテーマを設定しました。

3年間の思い出～担任団より～

1組 (主任) 塚越 晃

3月1日、総合学科9期生の卒業式が挙行されました。

厳粛な式は私たち担任団にとって思い出に残る素晴らしいものでした。また、3年間ともに過ごした生徒たちが巣立っていくのを見るのは感慨深いものがありました。泣くまいと思っていたのですが、答辞や卒業の歌のあたりでは涙があふれてきました。

卒業式が終わりほっとしたような寂しいような不思議な気持ちで残務整理をしていましたが、3月11日(金)にあの大地震が起きました。生徒たちを体育館に避難させたときに思ったのは卒業生たちは大丈夫だろうかということでした。もう9期生達全員に直接声をかけることはできないのですね。

これからの人生において彼らにも荒波が襲いかかることがあるでしょう。私たちはもう何の手助けもできません。南高で身につけたことを信じて自分後から乗り越えてほしいものです。

卒業生達の人生に幸多かれと祈ります。

3 学年担任団



2組 青柳 明子



立ち直るのも自分、めげるのも自分、強くなるのも自分、笑顔でいるのも自分。今の自分は、ひとつひとつの選択の結果から成り立ち、自分の気持ちも、外界からの影響はあるものの、結局は自分でそれを選んでいるのです。自分自身の人生です。人任せにしないで、自分で選び取り、少しずつでもいいからしっかりと前進していきましょう。

3組 木村 竜也

3組が卒業してから2週間が経ち、しみじみと自分のクラスが無いことに、クラスの生徒がいなくなること寂しさを感じています。それでも生徒には嫌われることを恐れず常に厳しく、気丈に接してきました。その分、3年次には皆に最良の進路をと共に悩み、毎日放課後遅くまで、面接や教科の指導に明け暮れました。その結果、皆十分に力を発揮し、近年まれに見る大学への一般入試での合格も果たしてくれました。合格の保証の全くない中始まった受験勉強、生徒・保護者・担任の三人四脚、努力が報われた瞬間でした。生徒はもちろん、協力してくれた保護者に感謝の気持ち一杯です。卒業式当日、別れの悲しい気持ちもあまりなく、涙無しでいつも通りSHRを終わりにするつもりでした。しかし、最後の最後代表生徒からのアルバムのプレゼントをもらい、中を開いた瞬間色々な思いが込み上げ自然と涙がこぼれてきました。3年間の仕事が終わったのだと改めて実感することができました。

これから、皆それぞれの道を行っていくことになります。クラスの生徒には冷たく非情に接してきましたが、5年後10年後にその冷たさが想うが故の“温かさ”であったと気付いてくれることを願っています。



4組 飯塚 潤子

ご卒業おめでとうございます。

南高に赴任して4年が過ぎ、この3月には南高で初めての卒業生を出すことができました。南高は他の学校と違い、総合学科ということで選択科目も多く、少人数制での授業が中心になり、自分の興味・関心・進路にあわせ時間割を作成するという特色があります。また課題研究の授業があるなど、この学校に赴任した時はそのことに戸惑い、授業内容の濃さに驚く毎日でした。生徒の皆さんもその多岐にわたった内容についていくのも大変だったと思います。特に課題研究では自分でテーマを設定し、研究・発表をすることはとても大変だったと思います。しかしその作業を通して自分で考える力が身につく、すばらしい成長をみせました。

これからの人生、高校時代に学んだことは、今すぐに役に立つことばかりではありませんが、必ず皆さんの力になっていることでしょう。自信をもってこれからの人生を生きていってください。

5組 厚木 範之

平成20年4月に田沼高から足利南高へ異動してすぐの担任だったので、慌ただしい日々が続いたことを覚えています。しかし、担任をすることで以前の普通科と違う総合学科としての足利南高を理解することができました。そしてすばらしい第33期生(総合学科9期生)との出会いができ、充実した3年間を送ることができました。

2・3年次において総合学習Ⅰ・Ⅱの係として総合学科発表会(課題研究発表会)に携わることで総合学科としての足利南高の存在価値を肌で知ることができたと思います。総合学習Ⅱを通して生徒たちは研究・調査の大変さ、難しさ、そしてやり遂げたときの充実感、や達成感、多くの人たちの前で効果的なプレゼンテーションのありかた等を学ぶことができたと思います。

卒業生の皆さん、これから先の日々に足利南高で得た友人を大切に、そして3年間で学んだことを大いにいかして進んで下さい。



事務より連絡

事務長 一川 路子

平成23年3月11日、東北・関東にマグニチュード9.0という大震災が起きました。この災害についてはテレビ・ラジオ等でご存知と思いますので詳細は申し上げますが、本校も写真1、2のような災害がありました。でも真岡方面では高架水槽の損傷で断水や屋上から煙突落下、宇都宮方面では門扉の倒壊、グラウンドで地下水が出て液状化現象など起きた学校もありました。本校はH23管理棟の耐震工事を控えていましたが、被害は本当に少なかったように思います。

現在、本校では県より福島県被災者受入校として対応依頼があり、第二体育館に教職員で写真3、4のように準備したところです。PTAからも避難者への義援金をいただきました。ありがとうございました。本校に見えた避難者を温かく迎えたいと思っています。

皆さん!この災害をとおして自分でできる節減・節約・ボランティアに参加しましょう。



3



4



1



2



発行：栃木県立足利南高等学校
TEL：0284-72-3119(事務室)
TEL：0284-72-3118(職員室)

教務部広報係
FAX：0284-73-2772